

# 市立銚子高校

# 同窓会だより

## 「和から輪へ」

同窓会会長 杉山俊明



本年7月22日の市立銚子高校同窓会総会に於いて御承認を頂き、この度同窓会会長に就任しました杉山俊明です。宜しくお願い致します。

始めに御挨拶をさせて頂く前に、総会を待たずに御逝去されました故金井前会長の御霊に衷心より哀悼の意を表させて頂きます。故金井会長とは以前信田元会長の下で同じ役員として御一緒させて頂き、その人柄から多くの事を学ばせて頂いた事が今となっては懐かしく想いされます。私が同窓会と関わったのは、

銚子市立銚子高等学校

### 同窓会報 第5号

発行	銚子市春日町2689番地
TEL	0479(0)311
FAX	0479(0)444
市立銚子高校同窓会	明彦
発行責任者	山杭
編集	長田
印刷	三友舎

旧市立高校西川会長時の「同窓会だより編集委員」からで、以来、故佐野会長、新市立高校信田会長と新旧歴代会長の下で同窓会活動のお手伝いをさせて頂きました。ここ数年は私事で同窓会とは少し離れておりましたが、この度若輩ながら会長に御推挙頂きました事は、今まで同窓会を通して知己を得た様々な方々のご縁のお陰である事を強く感じます。

さて、新市立銚子高校も統合から早4年の歳月が流れ、新校舎も2年が経ち、統合以来「地域のリーダーを育てるべく」様々な教育活動が展開されており、進学等の実績にその成果が表れております。今年も猿渡校長指導の下、国立立大学への42名が合格を成し、進学、就職に於いても着

実に実績を挙げております。また、旧西高校から続いた看護科が専攻科36名の卒業を以って35年の幕を閉じ、徐々にその体制も変わりつつあります。一方で、今母校を取り巻く教育事情は県の第二次高校再編の余波や少子化による市内学校小児童生徒の減少により、今後地域の市立高校としてのあり方が問われつつある様に思われ、将来的にはこれらの課題に対処する施策が必要になって来ると感じます。



▲9月8日に開催された東関東吹奏楽コンクールで金賞を受賞された吹奏楽部のみなさん

同窓会の発展の為に更なる組織の一体化に向け取り組みなければなりません。昨年宮内会長代行の下で開催された同窓会総会では組織の活性化と各支部組織の創設への取り組みが論議され、それに伴う規約の改正も行われました。統合5年目を迎えた今、これから卒業される新市立高校同窓生の為にも新たな同窓会の基盤を確立したいと考えております。その為には両校同窓生が新市立高校の校訓「和」の下に集い、大きな「輪」を創る努力と工夫が必要ではないでしょうか。微力ではありますが



▶統合後の市立銚子高校卒業生のグループ「ベルモンテ」。千葉県吹奏楽コンクール職場・一般部門で金賞を受賞し東関東大会に出場した

**訃報**  
去る7月10日、会長の金井洋夫様逝去をなさいました。ご冥福を心よりお祈りいたします。(事務局)

ますが私も執行部、役員の皆様のご助力を頂き頑張りたいと思います。同窓生の皆様の更なるご理解とご協力をお願い致します。  
最後に同窓生の皆様の益々のご活躍を祈念申し上げ挨拶とさせて頂きます。

# 母校は今



## 『市銚』の教育 学校長 猿渡末治

同窓会会員の皆様には、ますます御健勝のことと拝察いたします。また、平素は本校の教育活動に対し、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、去る7月10日に金井同窓会長が、御逝去されました。これまで、本校の発展のために御尽力いただきましたことに深く感謝すると共に、衷心より御冥福をお祈りいたします。

また、昨年3月の東日本大震災に際しては、同窓会より津波や液化化現象で被災した生徒や職員にお見舞いをいただき、更に、キャンパスストリートにベンチ(写真)を寄贈していただき、改めて御礼申し上げます。

新会長に就任されました杉山様には、金井会長同様、本校への御支援、御協力を重ねてお願い申し上げます。さて、着任して1年5ヶ月が過ぎました。本校では、教育目標「確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、文武両道の全人教育を通して地域のリーダーを育てる。」を実現するために様々な教育活動を展開しております。『市銚』の教育の究極の目的は、日本のため、地域のための有為な人材を育成することとおもっております。本校で、その基礎を学ばせ、授業や部活動を通して、友と切磋琢磨しながら人間関係を構築し、コミュニケーション能力を身につけさせ、生徒個々の夢の実現の手助けをすることだと思っております。

そのために、本校では特色ある教育活動として、単位制、土曜授業の活用、英教国の一クラス二分割の少人数習熟度別授業、45分7限授業、大学との連携等を実施しています。この春の卒業生は、国公立大学現役合格者数42名を含め、すばらしい進学実績を残しました。これは、全ての教職員が生徒のため、そして生徒自身が自分の夢を叶えるために頑張っているからこそその成果です。

現在日本は、国の財政危機、少子高齢化、デフレ、円高、東日本大震災被災地の復興、原発問題等々、多くの課題が山積しています。生徒たちが社会に出たとき、世の中が良くなっているとは限りません。むしろ、悪くなっているかもしれません。日本の将来は、彼らが活躍してこそ、発展し、良くなっていくと私は信じています。彼らが、このグローバル化社会の中で、日本の将来の力を握っています。彼らの社会での活躍を期待しています。



5月21日の朝、金環食の見学会が屋上で開催された



卒業式より。退場するのは最後の看護科専攻科生

後輩のため、本校の教育活動にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



8月6～9日、湯沢で行われたサマーセミナー



中庭に設置されたベンチ



**写真**

右上／5月29日、30日に行われたスポーツ大会。  
テニスコートを使ってドッチボールの試合

左上／教育実習。今年は24名の先輩がやって来た。  
写真は高橋務さんの日本史の授業

右下／6月23日文化祭り。総合最優秀賞は  
3年H組の「Aladdin」

左下／夏の高校野球千葉大会の応援風景。  
野球部はベスト32



陸上競技部  
円盤投げ 山口沙妃(3年)  
千葉県大会で3位に入り関東  
大会出場

**部活動の主な成績**

**進学**  
主な大学 (現浪合格者数)  
(国公立50) 北海道大1、弘  
前大2、福島大2、山形大3、  
茨城大14、筑波大2、千葉大  
5、電気通信大1、東京工業  
大1、東京農工大1、新潟大  
2、宮崎大(医・医)1  
(私立48) 文教大11、千葉工  
大14、千葉科学大32、青山学  
院大5、学習院大7、慶応大  
2、国学院大6、国際基督教

**今年の進路状況**



吹奏楽部  
8月11日(土)に行われた千  
葉県吹奏楽コンクール本選大  
会高校A部門で千葉県代表に  
選ばれ、東関東大会に出場す  
る。

**専攻科進路状況**  
銚子市立病院1、総合病院国保  
旭中央病院10、鹿島労災病院3、  
神栖済生会病院1、亀田総合病  
院4、成田赤十字病院2、県立  
佐原病院1、千葉北総病院1、  
千葉西病院2、小山記念病院4、  
土浦協同病院1、千葉徳州会病  
院1、江戸川病院2、新百合ヶ  
丘病院1、東京ベイ・浦安市川  
医療センター1  
(進学)あびこ助産婦専門学校1

**専攻科進路状況**

**就職**  
(公務員4) 千葉県警察2、  
千葉市職員1、陸上自衛隊1  
(民間企業10) ㈱丸安、かと  
り農業協同組合、ヤマサ醤油  
㈱、社会福祉法人銚子市社会  
福祉事業団、千葉産業クリー  
ン㈱、銚子商工信用組合、長  
峰無線㈱、㈱ユポ・コーポーレ  
ション鹿島工場、㈱弘和鹿島  
工場、住友金属工業㈱研究所

**就職**

**平成24年度 進学状況**

種別	普通	理数
国公立大学	22	16
私立大学	176	17
公立短大	1	—
私立短大	14	—
専門学校	36	1

大1、駒澤大9、上智大3、  
専修大15、大東文化大19、中  
央大4、東海大15、東京理科  
大2、東洋大21、日本大28、  
法政大14、明治大5、立教大  
8、早稲田大4、神奈川大18

### 平成24年 同窓会役員

役職	氏名	卒年
会長	杉山 俊明	昭和44年
副会長 (東京支部長)	波木 睦	昭和38年
副会長	平野 恭男	昭和45年
副会長	大木 乃夫	昭和45年
副会長	田杭 和彦	昭和54年
副会長	浅野 裕子	昭和54年
郡会長	高野 幸夫	昭和56年
副会長	伊東 均	昭和56年
副会長	笹本 尚子	昭和56年
事務局長	岡根 康裕	昭和53年
事務局次長	島田 洋二郎	昭和48年
事務局次長	佐藤 弘之	昭和50年
事務局次長	林 俊彦	昭和55年
会計	安藤 裕子	昭和57年
会計	石橋 高博	昭和59年
会計監査	三浦 衛	昭和57年
会計監査	加瀬 隆良	昭和61年
総務委員長	平野 恭男	昭和45年
組織委員長		
広報委員長	田杭 和彦	昭和54年
事業委員長		
顧問	西川 照幸	昭和18年
顧問	信田 臣一	昭和38年
顧問	宮内 敏	昭和36年
顧問(校長)	猿渡 末治	
顧問(教頭)	田中 三郎	昭和53年
顧問(教頭)	土屋 俊一	
顧問(事務長)	大塚 明	昭和51年

### 同窓会会員数 (卒業生総数)

	回数	計
旧制中学校	8	668
併設中学校	2	51
旧銚子高等学校	60	18,575
工業化学科	48	3,500
旧銚子中学・高校合計		22,794
銚子西高等学校	30	6,547
看護科	29	1,169
(専攻科)	2	※ 73
銚子西高校合計		7,716
普通科	4	1,315
銚子高等学校	2	85
理数科	2	77
看護科	2	※ 141
(専攻科)	4	
総計		31,987

※専攻科は全員本校看護科卒 (平成24年3月)

# 同窓会 REPORT

## 新会長選出

### 講演は

### 能楽師 安田 登氏

今年の総会は日曜日、7月22日午後3時から開催された。当日の参加者は70名で昭和24年卒の安藤義雄さん、山口隆男さんから昭和60年卒の向後英敏さん、向後隆夫さんまで。開会に先立ち故金井会長の御冥福を祈って黙祷を捧げた。講演会は能楽師安田登氏(昭和50年卒)が「海を渡る旅人」能を作った海人(あま



安田登氏の講演

びと)たち」と題して能の奥深さとおもしろさをわかりやすく語っていただいた。能の曲「高砂」を安田氏のリードで参加者全員で歌ったのも楽しいひと時だった。総会では杉山俊明氏を新会長とする役員人事が承認された。懇親会は波木東京支部長の乾杯にはじまり和やかだった。

### 同窓会は力強く、楽しくありたいもの

東京支部会長 波木 睦



ここ数年気候が定まらず、突然の豪雨などの多発、そして大惨事には心が痛みます。私のふるさとはいかがでございましょう。

同窓会の皆様にはお健やかにご活躍のこととお慶び申し上げます。私、今年度より2年間東京支部会の会長を拝命いたしました波木 睦(旧姓 高嶋)でございます。前会長の八木様初め執行部の方々のご指導を頂きながら、S38年度卒の

私共も実行委員会を立ち上げました。東京同窓会の会員の方々の『お山』『西高』の思い出を大切に、更に力強い結束と心の進歩を願い、陰ながらお手伝いをしたいと考えております。

母校同窓会会長は金井様の突然のご逝去に伴い、この度杉山様が引き継がれましたが、前会長の金井様の方針は杉山会長にしっかりと受け止められ、加えて若く強いリーダーシップの下益々発展していくことでしょう。そして新しい体制、新しい校舎の中で、まことの『市銚魂』が作り上げられていくこの時空で私共同窓会が少しでもお役に立つなら、この上なき喜びでございます。

学校長の猿渡先生は在校生に向けて、東日本大震災を踏まえて、中でも次のようにお話されたということです。それは「自分に今何ができるのか。そのために自分は何を学

ぶのか。学校での自分の学ぶ姿勢を考えよ。」と。これは私たち同窓生にも言えることでしょう。私たちは年々老いていきますが、いつも防災の心を持ち、他の人のために何かお役に立てることがあるうかと、気持ちをしつかり持って生きていくことが大切です。私たちも精一杯頑張ります。また、東京同窓会は故郷銚子から少し離れたところで活動しておりますが、心はいつも在校生の皆様と共にあらんと思っております。

最後になりましたが、東京同窓会各位におかれましては次回同窓会総会開催日(平成25年6月16日(日))のお目文字までお変わりなくお健やかに過ごして下さいますよう、また重ねて今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

市銚同窓会及び東京同窓会の益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げ、東京支部会会長就任のご挨拶とさせていただきます。

お山S58年3月卒業生へ

## 緊急告知

1983/2013

卒業30年目を迎える旧市立銚子高校、昭和58年卒業生の学年同窓会が開催されます。犬吠埼で楽しい年明けを迎えましょう。

日時 2013年1月2日15:00~

場所 犬吠埼ホテル(旧京成ホテル)

# 「職業人講話」

平成23年11月17日、1年生を対象に(主に)卒業生による、職業に関する授業が行われました。  
担当してくれたみなさんです。(敬称略)



米谷 博 昭和57年卒  
国立歴史民俗博物館/学芸員



伊良部真一郎 平成10年卒  
千葉労災病院/医師



五十嵐伸光 昭和54年卒  
さざんか園副施設長/福祉



石井 正人 平成元年卒  
機建総環境研究所/自然環境コンサルタント



菅谷 武芳 昭和60年卒  
産業技術総合研究所/研究者



岩垂 稔 銚子出身  
日本航空/運輸・777機長



石毛 友美 平成16年卒  
(有)アサヒ印刷/デザイナー



榊淵 恵理 平成19年卒  
中央労働金庫/金融



舘 伊佐夫 昭和58年卒  
IHI/製造・ロケット



越智まりこ 昭和58年卒  
藤原歌劇団/ソプラノ歌手



鈴木 克弥 平成13年卒  
香取特別支援学校/教諭



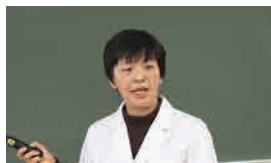
野本光太郎 平成17年卒  
千葉県職員/公務員



辻 福美 昭和59年卒  
本校職員/看護師



小林 幸也 昭和56年卒  
房総法律千葉事務所/弁護士



原 明美 昭和52年卒  
鹿島労災病院/薬剤師

## 各地で行われた同窓生の集い



今年の3月30日、毎年恒例で開催している辰巳会ゴルフコンペを開催しました。天候にも恵まれとても素晴らしいコンペとなりました。(辰巳会は東京同窓会の辰年・巳年生まれが中心の集まり)優勝は山口修二さんでした。年2回開催予定なので今度は秋に天候のよい日に開催します



平成3年卒の学年同窓会が今年の3月10日に開催された。写真は恩師と花束贈呈のクラス代表。本当は昨年(平成22年)の3月に企画されていた同窓会だったが、東日本大震災のため、1年延期されての開催になった

## 会費の納入をお願いします。年会費1,000円

振込先 郵便局 口座名 銚子市立銚子高等学校同窓会 口座番号00100-2-189041

一年は早いものです。つい忘れがちなので是非この機会に終身会費をお願いします。(10,000円)

### 終身会費納入者 (平成23年4月より平成24年9月まで納入分) (卒業年順・敬称略)

昭和37年卒 多部田陸夫	昭和42年卒 (渡辺)大木和子	柏 熊 隆 昭和47年卒	昭和51年卒 田村真一	伊東絹枝 川崎敬士	平成7年卒 佐藤真紀子	平成20年卒 稲葉哲也	平成23年卒 石田晃大	田村祥太郎
昭和38年卒 (高嶋)波木 睦	昭和45年卒 (宮原)堀口弘子	(江畑)伊豆絹与 昭和50年卒	昭和55年卒 篠塚 浩	山 寺 和 夫 平成元年卒	菱木智和 横田瑠理子	平成21年卒 鈴木克規	木川翔太 鈴木崇史	塚本愛美
昭和40年卒 島田文威	飯塚恵子 釜谷藤男	安藤良一 木内勝善	(川村)福井順子 雨宮栄治	石井正人 平成2年卒	棚木陽子 平成11年卒	平成22年卒 渡邊仁志	飯岡大介 大石岳史	石田有矢
(増田)宝利虚子 桑島省治	太田道子 塚本順子	滑川利幸 鈴木 透	岡根正和 昭和60年卒 (清水)向後英敏	足利 寛 (山崎)永山章子	椎名桃子 平成17年卒	加藤裕介 伊豆南々帆	小池貴仁 高橋慶伍	
	石毛和人			伊藤崇浩	伊藤崇浩	野口真希	菱木悠介	《合計54件》

## 終身会費 納入者一覧

同期の桜



北から南から

あの人・この人 P.S.元気ですか？

名 雪 稔 (S35年卒)

技術立国日本に生きて



20世紀後半の日本は技術大国であり技術立国とも呼ばれて世界づくり大国とも呼ばれて世界の技術・産業の発信地という立場であった。私もその技術進歩・産業創生という興味深いサラリーマン人生を送ることが出来た一人であると思う。世界で初めての漢字プリンター開発

1968年に日本アイビープームに入社し、初めての大きな仕事は当時世の中になかった漢字プリンターの開発である。

ニューヨーク州エンディコットのIBM研究所に1年ほど滞在して開発し、大阪万博に出展した。ワイヤドットマトリックス方式という技術で、漢字キーボードで入力するという現在のプリンターでは想像もつかないようなものだった。

レコード盤のような磁気記憶装置(ハードディスク装置: HDD)の生産立ち上げ

1970年代半ばは、磁気記憶装置の生産に従事した。10インチのレコード盤のような磁気ディスク上を磁気ヘッドがデータの読み取り書き込みを行うもので、ヘッドの駆動はN極とS極2個の永久磁石の間を電磁コイルで駆動させるといった近年のリニアモーターの先駆けともいえる画期的なものであった。現在ではレーザー技術により1インチのディスクに数十ギガバイトの容量を持ち小型パソコンにも組み込まれる製品になった。

日本半導体産業の全盛期に生きる

1977年からドイツのIBM研究所に3年ほど滞在した折に出会った半導体技術を基に帰国後は半導体事業を担当し1986年に当時の最先端半導体である1メガビットメモリーを世界に先駆けてIBMコンピュターに搭載した。

1980年代は東芝やNECなどの日の丸半導体企業が世界を席巻した良き時代である。その半導体メモリーは現在数ギガビットというところまで進歩している。

日本発の産業: 液晶ディスプレイの事業化を推進

1988年からニューヨークのIBM本社に4年ほど滞在して帰国後担当したのが液晶

ディスプレイの開発であった。この技術の産業化は電卓や小型液晶テレビから始めた日本企業である。

1990年代の液晶産業は日本が世界の90%以上のシェアを持つていたが市場規模が小さく如何に市場を拡大していくかが業界の課題であった。そのため大手企業を巻き込んでフォーラムを形成して副委員長として10年間、産業の拡大に大いに貢献した時期である。いまや液晶ディスプレイはIT社会にとって欠かせない道具となった。

京都ライフを楽しみながら日本産業再生を期す今日

HDDも半導体も液晶もアジア勢に押されて今では日本企業がさえない状況に陥ってしまったがその技術は自動車、家電製品、液晶TV、スマホなど全ての産業に貢献していると言っても過言ではない。

2004年に京都で電子デバイス関連のコンサルタント会社を設立して8年、今は経済産業省地域経済支援プログラムのコーディネーターとして大学の発掘、それらのマッチングのため西日本を中心にかけずり回って新たな日本発の技術の育成を目指している今日である。

全国に銚子自慢を発信

石毛 克也 (S56年卒)

私はいま「銚子ジオパーク推進市民の会」にて、ジオマスタ(市民ガイド)として、銚子を訪れる観光客へのガイドおよび、銚子の観光・商業・



産業・など経済効果や教育に寄与するための企画、全国に銚子自慢の情報発信の広報を担当しています。

思い起こせば、このルーツは、西高で学んだ3年間にありました。

私は当時、銚子大吠埼にあったユースホステル「YH大吠荘」で、クリスマスや夏休みのイベントを企画して、旅行客に楽しんで頂くためのヘルパーをしており、銚子に遊びに来る高校生や大学生を中心に、銚子のみどころ観光案内のボランティアをしていました。

私が入学した3回生の西高は、草創期で全てにおいて生徒たちによる手造り感で溢れており、毎年夏休みに、各クラブ・部活の部長、委員会の委員長、クラスの委員長などのリーダー達で構成される「リーダーズ研修会」が、海上キャンパスで実施され、校風の「和」の精神について更に生徒間の横つながりを、テントやバンガローで各リーダーたちと寝食を共にして、絆を強める研修でした。

生徒会での運営・活動としてこの企画は、とても印象深いものでした。ここでのメインイベントは、キャンプファイヤーを中心に、歌やゲームで盛り上がり、フォークダンスで締め

め括る「ミーティング」です。この、ミーティングの企画と進行を、日頃私が活動していた大吠埼のユースホステルでの「ミーティング」経験を、理科の宮内雅夫先生に引き出していただき「リーダーズ研修会」で関わらせて頂きました。

30数年が経過した今でも、銚子に来られる観光客に「おもてなし」の気持ちで、いかに楽しんで頂くかを、「リーダーズ研修会」で教えてくれた宮内雅夫先生に感謝致します。さて、銚子市は今年、日本ジオパークに正式加盟を目指して活動しています。

銚子には美しい景色の中に、貴重な地質遺産があります。そのことに、気付き・学び、そして私たちの次の世代に伝えましょう!!

銚子の恵まれたジオ(大地)の上で私たちは、生活しているのだから、銚子の全ての産業経済は、ジオの付加価値をつけてあらゆる分野とつながります。銚子を知る事により、もっと銚子を好きになる。私たち一人ひとりが、銚子自慢を全国に発信する「市民ガイド」です。

私たちが一緒に銚子を盛り上げましょう!!

(銚子ジオパーク推進市民の会ホームページ: <http://www.choshi-geopark.com>)

夏蒼2012

永井 将明 (H33年卒)

2012年一般社団法人銚子青年会議所第49代理事長を仰せつかりました永井将明と



申します。1991年に卒業後、大学は九州、就職後香港で6年半を過ごし、2002年10月銚子が好きで戻ってきました。この地域を拠点に生きて行く以上、地域の活性化に寄与することを考え、翌年地元で20歳〜40歳までの青年が集まる銚子J.C.に入会し、現在に至っております。

そのJ.C.の事業で先日、夏着2012〜今私たちにできることをテーマとし、8月19日、20日の2日間、市内高校生33名と共に福島県相馬市、新地町、仙台市と被災地を見てまいりました。東日本大震災から1年5カ月が過ぎた現状、新地高校校長先生のお話、地元市会議員のお話は、自然の脅威を理解したうえで、今できることを地道に繰り返すこと、先が見えない前に向かって一歩踏み出していく勇氣、諦めずに何かを伝えていく信念を強く感じました。そんな地域で暮らす同じ高校生との交流、同じ宿で食事をし、夜は花火、初対面にも関わらず話す事は無限にあり、かなり遅い時間まで声が聞こえていました。

2日目は、相馬市内の土地に花の苗を皆で植えました。雑草抜きから始め、土を耕し、水やり、苗を植えるための穴掘り、苗植え、水やりと汗を

流しました。当日は天気が良くかなり大変でしたが、336個の花の苗を植える事が出来ました。その後地元の体育館で又汗を流し、お別れ会ではこの2日間の交流で感じた思いを言葉にし、全員で寄せ書きをして福島を出発し銚子へ帰りました。

この夏、各地から被災地に多くのボランティアが訪れています。同じ作業の繰り返し、内容はただ草抜き、本場に役に立っているのか実感が湧かない。しかし地元の方々にとっては、本当に助かっています。高校生でも大人でさえも何をすべきなのか、できることは何なのか、分からないかも知れませんが、以下の3つのことを行えば自然に「今私たちにできること」を実践していることに繋がっていると思います。1つは積極的に活動に参加することでみえてくる自分を知ること、次に相手の気持ちを考慮して困っていることとは無いか気付いてあげる心、最後に目標を持って決して諦めないこと。

最後に、10月7日(日)には第3回銚子の超おしいサマ祭りも開催いたします。旬の生サマを5千匹焼きまします。こんな経験は滅多にできません。宜しければ焼きに食べに来て下さい。私は今J.C.と仲間と共にこの郷土の上に立ち、これからも頑張っていきたいと思っております。

## 作曲家への道

樽屋 雅徳

(H8年卒)



中学生の頃に初めて楽器を手にし、憧れの市立銚子高校吹奏楽部に入部、そして作曲家を志してから今に至るまで：音楽の道に入ってからというもの、大変辛いことにも恵まれそして支えていただけてきました。そのおかげさまで今自分は作曲家として活動ができています。こうして自分の人生を振り返る度に、感謝の気持ちで止むことはありません。

高校時代、特に担任の板倉先生や吹奏楽部顧問の佐藤先生には、3年間を通して大変お世話になりました。部活動では音楽の力を育んでいただいたと同時に、作曲の楽しさを初めて教えていただきました。

これこそが私の原点であり、この出会い無くしては今の私はないと言っても過言ではありません。自分で楽器を演奏するだけでなく、自分で音楽を生み出すという喜びを知ることができた私は、先生のご指導の元に音大の受験を決意し、本格的に作曲の道に入ることになりました。

武蔵野音楽大学音楽学部作曲学科に進学し、より専門的に音楽を学んだ後、これまた数々の方とご縁により全国

各地のバンドから依頼をいただき、作曲をさせていただいております。

2010年には、千葉県出身の作曲家として、千葉国体開会式炬火曲の作曲もさせていただきました。

現在は、それらの作曲活動と並行しながら、市立銚子高校吹奏楽部の音楽監督として指導にもあたっております。

吹奏楽コンクールでは東関東大会に7回出場、2005年度マーチングコンテスト・2008年度アンサンブルコンテストでは、全国大会に出場することができました。

このような成績を残してきたことは、私一人の力ではとても成し遂げられたことではなく、部活動を支え見守ってくださる、校長先生をはじめとする学校の先生方や同窓生の皆さまのお力あってこそだと思っております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

## 看護師1年生

高橋 萌子

(H23年卒)

統合から早いもので4年が過ぎ、市立銚子高校の現役生は、学業にそして部活動に一生懸命に取り組む、充実した毎日を送っていることと思っております。

私共々、夢や未来に向かってひたむきに努力する若い力をあたたかく見守っていただきましたら幸いです。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

私は今年の3月に市立銚子高校の看護科・専攻科を卒業



し、4月から県立佐原病院外科病棟の看護師として働き始めています。

学生のころは「早く看護師になりたいな」という気持ちが強かったのですが社会人になつてからは「もう一度、学生に戻りたい。クラスのみんな、先生方に会いたいな」という気持ちが強いのです。もちろん学生のころは毎年のように病院実習があり、そのたびに記録に追われ、自分の思うような看護ができませんでした。しかし、いつでも近くに気持ち分かち合える仲間がいたり、気軽に相談できる先生方がいたから最後は笑顔で何事も乗り切れました。そんな環境が懐かしく思えます。

また私たちは最後の看護科生として、一人も欠けずに看護師国家試験に合格しなくてはならないというプレッシャーがありました。朝早くから学校に登校し勉強している子や放課後、校舎が閉まるぎりぎりまで学校に残り勉強をしている子、友達同士フアミレスに行き遅くまで勉強している子など自分に合った勉強方法を考えそれぞれが夢のために努力していました。私も友達と一緒に学校が終わってから自宅で学習をしていました。今思い出、次ページ下段へ

語り継ぐ津波の恐怖

被災から今日まで

和久純 一 (旧職員)

昨年の震災災害時に、色々な形でお見舞いや励ましの言葉を下さったお山、旧西高の同僚だった先生方や卒業生に心より御礼申し上げます。今回お山の同窓会の田杭編集長より、『被災から最近の私の生活の様子』を近況報告という形で「同窓会だより」に載せたいという依頼を受けました。同窓の先生方や卒業生の中にも、3・11の地震や津波や液状化で、私よりもっと大変な被災を被り大変な思いをしていらつしやる方がいるのに、いったい何を書いたらいいから良いのかと迷いました。でも原稿依頼の理由を私なりに解釈しますと、被災から2か月半余りが経過した5月27日NHKの被災取材班の「私と妻が自宅の庭で津波を受けた時の様子の報道」がきっかけとなり、色々の新聞・雑誌が「いいおか津波 語り継ぐ会」が中心となつて開催する防災教室で何度か私が話したことを記事として取り上げ報道されたことが皆様の目に留まり、私を心配しての原稿依頼と受け止めました。それが依頼の答えになるのかどうか不安ですが少し書いてみます。

私の3・11  
津波の恐怖、語り継ぐ  
2012年3月1日千葉日報  
震災当日、家内と庭に  
いた時に津波が見えまし

た。見えたと思つたら、渦を巻いた水がものすごい勢いで来て周りが全部海になりました。二人で庭の小高い場所に逃げましたが、津波が土手につかりしぶきを上げ、木につかまっていた家内が流されました。とっさに腕をつかみ引き上げましたが、つかめなかつたら思うし……津波への恐怖はありますが庭に新しい家を建てています。人がいなくなつたら復興はできないので、この土地に残ろうと思ひます。

この記事を目にした方も多くいると思ひます。振り返りますと災害時には何をどうしたら良いのかかわからず、記事にあるように、ただ不安と恐怖に脅え、特に津波をもろに受けた妻の津波と地震への恐怖心は私の想像以上、強く戸惑いの毎日でした。が、幸いにも私宅を37年前に建築した時の棟梁さんが健在で被災の翌日からほぼ2か月毎日、壊滅状態の家の修復に全力を注いでくれたお陰で、仮設住宅には入居せず自宅での生活はできました。ただ、津波を受け傷みの激しい家の復元は無理なので庭に小さな平屋の建築に取りかかり現在どうにか完成しました。旭市の住宅の被害状況の調



NHKテレビで被災の様子を語る和久先生



「いいおか津波語り継ぐ会」より



看護科生を見守ってきたナイチンゲール像とナイチンゲール誓詞

査結果によると被害住宅は3、896棟で、中でも飯岡地区の185棟は津波による全壊で、そのほとんどは当時解体され、海岸沿いには空き地が点在していますが、最近少しずつ復興の兆が見えてきているのは嬉しいことです。家屋が全壊した被災者の多くは元の土地への再建に大きな不安を抱いていると思いますが、私の妻もその一人でした。でも被災から半年を過ぎた頃、皆様からのお見舞いや激励のお陰で気持ちに落ち着きを取り戻し、再建への気持ちが固まったので前向きに復興へと取り組みました。私はお山(22年)十四高(5年)の長い教員生活の沢山の思い出と指導経験を活かして現在千葉科学大学と旭中央病院看護専門学校で非常勤講師をする傍ら、「いいおか津波語り継ぐ会」のメンバーの一員として時々開催される防災教室に参加しています。今のところ健康です。若い学生とのふれ合いが私の健康の源のようです。最後に、被災された方の早期の復興と新銚子市立高校の益々の発展を祈念いたします。

前ページ下段よりすと、よくあんなに勉強ができたなと思つてしまいます。准看護師試験・看護師国家試験をうけるときは前日からホテルに泊まり試験を受けに行きました。試験前日などみんなピリピリしているだろうなと思いきや私たちのクラスは違い、みんなの表情は笑顔で友達の部屋に集まりくどい話をしあったり、試験の問題を出し合いっこしたりとリラックスして過ごすことができました。それもクラスのみんなのおかげです。合格発表の日には本当にドキドキしました。先生が「全員合格」と書いた大きな紙を広げたときは自然と涙が溢れてきました。あの時の感動は忘れられません。

毎日が走るように過ぎさり自分の考えている看護が思うようにできずにギャップを感じています。就職したての頃は自分のできることも多くなり徐々に職場の環境にも慣れてきました。夜勤業務も始まり、学生の時には知ることのできなかつた看護師の仕事にも携われるようになり嬉しく感じています。辛くて仕事に行きたくないなと思うこともありすが、患者様から「頑張つてね」や「ありがとう」という言葉を聴くと頑張ろうという気持ちになり、前向きに物事を考えられるようになります。後輩がいなくて寂しいという気持ちはまだありますが、臨床で働いている銚子西高校の先輩方や市立銚子高校の先輩方と学校の名に恥じないよう日々努力し病める方々の力になっていきたいと思ひます。